生産性向上支援訓練オープンコースのご案内 ㉙

令和８年度 第３弾

成長・成功を支える指導力 ～教える、促す、導く、共創する～

後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割

コース番号：068-055

開催日時：2027年 1月29日(金)　9：30～16：30（６時間）

募集締切：1月15日(金)

受講料 3,300円（税込）

開催場所：ポリテクセンター山梨（裏図参照）

定　　員：16名程度（先着順）

推 奨 者：中高年齢層 ※このコースは原則として45歳以上の方が対象ですが、それ以外の方も受講できます。

実施機関＆講師

株式会社
プロフェッショナル
ディベロップメント
代表取締役 **奥村　聡氏**



講師Profile

経営実績16年。
企業・自治体等への組織管理・人材育成の豊富な研修実績。豪州大学院にてMBA（経営修士）、MATESOL（英語教授法修士）修了。
実践的な演習による参加型研修が特徴。

コースの狙い

中堅・ベテラン従業員がこれまで培った経験を活かした後輩従業員を指導するためのコーチング法の知識と技能を習得し、職場の課題解決に向けた先導的役割を理解します。

主な訓練内容

◎ **職場の課題**

(1) 職場の現状把握

組織の経営資源［ひと、もの、お金、情報、時間、知財］の把握と最適な運用について課題を発見します。
経営者のマインド（５つの目線）［顧客、部下、上司、経営者、社会］から職場の課題について洗い出します。
【演習】［ひと、もの、お金、情報、時間］に区分けして課題を把握し解決案や取組について意見交換をします。

(2) 職場の課題と解決のプロセス

「課題（発生型、潜在型、設定型と特性）」とは何かについて学びます。
【演習】［職場の現状］と課題を把握し、その真因を特定して話し合います。

◎ **求められる役割**

(1) 職務経験の確認

管理者層（中堅・ベテラン）に求められる［資質］とは何かについて学びます。
【演習】 PROFIT分析をして職務体験を棚卸し正確に自分の立ち位置を把握し、これから得たい経験について設定し意見交換します。

(2) 上司とのコミュニケーションによる役割の確認

管理者層（中堅・ベテラン）に必要な［フォロワーシップ］と［リーダーシップ］とは何かについて学びます。
【演習】［伝える力］の演習（伝えた、と伝わった、は違う）。［質問する力］の演習（聞いた、と相手が理解して返答したは、違う）。

◎ **ティーチングを活用した指導法**

(1) ティーチングの進め方

育成手法［ティーチング、コーチング、カウンセリング、メンタリング］とは何かについて学びます。
【演習】指導している後輩をひとり抽出して将来の姿の設定から身に付けて欲しいMASKを記載します。

(2) ティーチングのスキル

身に付けて欲しい能力を細かいステップに分ける［カリキュラム］（自動車教習所式）。
教える時間と成果は比例しないと理解する［学習曲線］。　**【演習】**カリキュラムを受けてルーブリックを制作します。

◎ **コーチングを活用した指導法**

(1) コーチングの目的

［コーチング］とは何かについて学びます。　**【演習】**後輩や部下への1on1やコーチングについて体験を共有し探究します。

(2) コーチの心構え

［見本として振舞う］常に見られているという意識を持つ。
［相手主体］相手に求める前に、まず自ら行動を示す。相手を理解してから、こちらを理解してもらう。相手の話を「傾聴」します。
【演習】実際に傾聴の手法をして深いコミュニケーションを体感します。

(3) コーチングの原則

コーチングの３原則の徹底。　**【演習】**実際にコーチング手法を活用し1on1とコミュニケーションをしてスキルを習得します。

○ 訓練内容のココがポイント！

本研修は、中堅やベテランが自身の職務経験の棚卸から組織に求められている役割を明確にし、後輩を指導するティーチング手法やコーチング手法の知識と技能を習得し、職場における課題の解決や後輩の育成に先導的な役割を果たすことを目的としています。
本来は長期間かかるティーチング手法とコーチング手法の習得は、簡素化されたフレームを活用して後輩指導に活用しやすくしました。
ティーチングもコーチングも相手に合わせ最適な手法を柔軟に選択するため、相手を観察し傾聴する演習も多く取り入れています。

生産性向上支援訓練の「マイページ」サービスが始まりました。
企業（事業所）をマイページに登録すると、生産性訓練の申し込み等をＷｅｂから行うことができます。
マイページURL https://mypg.tds.jeed.go.jp/
マイページの詳細、お申し込みはこちらから

どちらからでも申込可

ポリテク山梨のＨＰ内に、ＰＣ（Excel）で入力できる受講申込書の様式データがありますので、受講申込書に必要事項をご入力の上、メール又はＦＡＸでお申し込み下さい。